

正 誤 表

『医療検査と自動化』第49巻 Suppl.1「極端値・パニック値対応マニュアル Ver. 2」(2024年5月30日発行)にて、記述に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、以下のように訂正をいたします。

◆訂正箇所1

p.26

II 考慮すべき検査結果の変動要因

5) 検体の保存条件

①全血で長時間放置

【誤】・血球がグルコースを消費することによる Glu 高値

【正】・血球がグルコースを消費することによる Glu 低値

◆訂正箇所2

p.135の[基準値・パニック値一覧]の

・PLTの単位 $10^3/\mu\text{L}$ → $10^4/\mu\text{L}$

・本誌掲載一覧のPLTの下限基準値 158→15.8、 上限基準値 348→34.8

・本誌掲載一覧のPT-INR上限の パニック値 2 ※ワルファリン仕様は4
→ワルファリン仕様は4

一般社団法人 日本医療検査科学会
「医療検査と自動化」編集委員会